

☆RIM JAPAN PRODUCTS INTELLIGENCE DAILY

★No.7954 Jul 30 2019

Copyright(C) 2019 RIM Intelligence Co. All rights reserved.

東京時間2019年7月30日火曜日17時<Assessment Closing Time>

「リム価格」は登録商標です 登録番号・第5387777号+

「4リム価格」は登録商標です 登録番号・第5660925号

「リムラック価格」は登録商標です 登録番号・第5660926号

◎お知らせ

○IMO最新動向・アセスメントメソドロジー説明会のお知らせ

国際海事機関(IMO)が2020年1月から船舶油の硫黄分規制を強化するのに伴い、リム情報開発はいわゆる「適合油」の価格評価を9月以降、複数のレポートで順次、開始いたします。これに関する説明会を9月10日(火)13時30分より、下記のとおり開催いたします。また、国内外の適合油最新動向を、当社の担当記者が説明いたします。参加無料。参加を希望される方は下記のリンクよりお申込みください。

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/2019methoSetsumeii/>

【アセスメントメソドロジー説明会】

日時：9月10日(火) 13時30分～16時00分(13時受付開始)

場所：株式会社QUICK 「QUICK Square(クイックスクエア)」

東京都中央区日本橋室町2-1-1 日本橋三井タワー14F(三越前駅)

内容① IMO最新動向

② アセスメントメソドロジー説明会(順不同)

- *バンカーオイルレポート
- *国内石油製品レポート
- *アジア石油製品レポート
- *LPGレポート

-----リムレポートのご紹介-----

リム情報開発のレポートラインアップは、下記のURLからアクセスください。各レポートのサンプルに加え、内容についての詳細な説明がご覧いただけます。

<https://www.rim-intelligence.co.jp/first/report>

ラインアップ：

原油・コンデンセート	アジア石油製品	バンカーオイル
ローリーラック(国内陸上)	ジャパン石油製品(国内海上)	LPG
石油化学	ポリオレフィン	LNG
電力	デイリーデータ	Rim Data File
CROSS VIEW軽油	CROSS VIEW重油	

上記に関するお問い合わせはこちらまで

TEL 03-3552-2411 E-mail info@rim-intelligence.co.jp

東京時間2019年7月30日火曜日17時<Assessment Closing Time>

◎国内石油製品海上バージスポット価格（製油所・油槽所バージ取り・円/kl）

東京湾(京浜/千葉)	固定値	中値	前日比	市況連動
ガソリン	+ 60,500~ 61,500 +	61,000	+500	-500/ +500
灯油	56,500~ 57,000	56,750	+0	+500/+1000
軽油0.001%S	+ 63,300~ 64,300 +	63,800	+500	-200/ +800
A重油1.0%S	58,000~ 59,000	58,500	+0	-500/ +500
LSA重油0.1%S	58,500~ 59,500	59,000	+0	-500/ +500
LSC重油0.3%S	51,500~ 52,500	52,000	+0	-500/ +500
HSC重油3.0%S	47,500~ 48,500	48,000	+0	-500/ +500

西日本(阪神/大西)	固定値	中値	前日比	市況連動
ガソリン	+ 59,500~ 60,500 +	60,000	+1,400	-1500/ -500
灯油	56,000~ 57,000	56,500	+0	0/+1000
軽油0.001%S	+ 63,300~ 64,300 +	63,800	+500	-200/ +800
A重油1.0%S	58,000~ 59,000	58,500	+0	-500/ +500
LSA重油0.1%S	58,500~ 59,500	59,000	+0	-500/ +500
LSC重油0.3%S	51,500~ 52,500	52,000	+0	-500/ +500
HSC重油3.0%S	47,500~ 48,500	48,000	+0	-500/ +500

市況連動はリム月間平均値に対するプレミアム/ディスカウント 前日比は固定値中値ベース

◎国内石油製品ペーパースワップ価格（国内製油所バージ取り・円/kl）

	8月	9月	10月
ガソリン	+ 60,500~ 61,500 +	+ 56,600~ 57,200 +	+ 54,400~ 55,000 +
灯油	55,500~ 56,500	+ 59,000~ 59,600 +	+ 59,000~ 59,600 +
軽油0.001%S	+ 63,000~ 64,000 +	+ 63,000~ 64,000 +	+ 63,000~ 64,000 +
A重油1.0%S	58,000~ 59,000	58,000~ 59,000	58,000~ 59,000
LSA重油0.1%S	58,500~ 59,500	58,500~ 59,500	58,500~ 59,500
LSC重油0.3%S	51,500~ 52,500	51,500~ 52,500	51,500~ 52,500
HSC重油3.0%S	47,500~ 48,500	47,500~ 48,500	47,500~ 48,500

◎東京商品取引所石油先物・日中取引（東京湾製油所・油槽所バージ取り・円/kl）

ガソリン	始値	高値	安値	帳入値	前日比	出来高
9月限	55,570	56,100	55,570	56,100	+810	26
10月限	53,640	53,930	53,640	53,880	+780	27
11月限	52,200	52,660	52,200	52,580	+730	20
12月限	51,400	51,550	51,400	51,470	+730	31
1月限	50,220	50,650	50,220	50,570	+740	302
2月限	49,980	50,290	49,980	50,210	+710	256
合計	662					

灯油	始値	高値	安値	帳入値	前日比	出来高
9月限	59,100	59,290	59,100	59,260	+1,050	23
10月限	59,190	59,280	59,120	59,260	+860	25
11月限	58,840	59,180	58,840	59,180	+940	55
12月限	58,790	59,130	58,780	59,130	+1,000	73

1月限	58,080	58,990	58,080	58,980	+1,010	157
2月限	57,690	58,550	57,690	58,520	+1,080	267
合計	600					

軽油	始値	高値	安値	帳入値	前日比	出来高
9月限	-	-	-	62,200	0	-
10月限	-	-	-	61,900	0	-
11月限	-	-	-	61,600	0	-
12月限	-	-	-	61,300	0	-
1月限	-	-	-	61,000	0	-
2月限	-	-	-	60,700	0	-
合計						

原油	始値	高値	安値	帳入値	前日比	出来高
7月限	43,010	43,010	42,870	42,960	+30	13
8月限	42,630	42,700	42,610	42,700	+680	75
9月限	42,090	42,220	42,050	42,220	+720	50
10月限	41,480	41,580	41,470	41,580	+630	92
11月限	40,850	40,980	40,850	40,980	+680	432
12月限	40,370	40,500	40,370	40,490	+680	1,908
合計	2,570					

取組高 (07/29) :

	売	買	
ガソリン=	4,413	4,413	
灯油=	1,653	1,653	
軽油=	0	0	
原油=	53,157	53,157	1枚=50kl

◎東京湾製油所出し陸上スポット価格 (千葉・川崎平均値 円/kl)

ガソリン	58,650	unch.	灯油	59,000	unch.
未課税軽油0.001%S	61,200	unch.	A重油1.0%S	58,750	unch.
LSA重油0.1%S	59,000	unch.			

◎原油輸入平均CIF価格 (JCC 円/kl・財務省発表)

19/05/01-31r	50,995	19/06/01-30r	50,132	19/07/01-31	8月19日発表予定
19/05/01-10	50,785	19/06/01-10	50,981	19/07/01-10	47,273
19/05/11-20	51,095	19/06/11-20	50,046	19/07/11-20	8月7日発表予定
19/05/21-31	51,026	19/06/21-30	49,564	19/07/21-31	8月19日発表予定

r=修正値

◎原油輸入平均CIF価格予想値 (JCC 円/kl、RIM試算値)

19/7月	45,210	±0	19/8月	45,660	+30	19/9月	45,980	+790
-------	--------	----	-------	--------	-----	-------	--------	------

＜週間サマリー＞ドバイ（ペーパーズワップ）は30日、24～30日の平均値が43,272円と、23日の水準（17～23日）から645円上昇した。英国政府がホルムズ海峡での英国船舶護衛を目的に、海軍の派遣を開始したことなどで地政学的緊張が高まり、WTI原油、ブレント原油とともにドバイ・スワップが買われた。JCC(Japan Crude Cocktail) 予想値は、7月物が23日比変わらずの45,210円。8月物が同比240円高の45,660円。9月物が同比940円高の45,980円。

◎MR船型の日本着輸入価格（ナフサ・重油 ドル/トン その他 ドル/バレル）

	スポット価格	プレミアム	円/kl
ナフサ	+ 509.00～ 511.25 + **	2.25/ 3.25	39,240
ジェット/灯油	+ 79.95～ 80.05 +	1.05/ 1.15	58,443
軽油 0.001%S	+ 80.20～ 80.30 +	0.65/ 0.75	59,019
重油 380cst 3.5%S	+ 412.00～ 413.00 +	5.50/ 6.50	47,245
重油 0.3%S	+ 571.25～ 581.25 +	155.00/165.00	64,790*

円ドル換算レート (TTS 円/ドル 7月30日現在) 109.89 *密度0.95

**ナフサのスポット価格、プレミアムは参考値

◎MR船型の日本積み輸出価格（重油 ドル/トン その他 ドル/バレル）

	スポット価格	プレミアム	円/kl
ジェット/灯油	+ 78.60～ 78.70 +	-0.30/-0.20	56,669
米西海岸向け軽油	+ 79.05～ 79.15 +	-0.50/-0.40	56,977
軽油 0.001%S	+ 78.80～ 78.90 +	-0.75/-0.65	56,806
重油 380cst 3.5%S	+ 401.00～ 402.00 +	-5.50/-4.50	45,426

円ドル換算レート (TTM 円/ドル 7月30日現在) 108.89 *還付金の2,800円を含む

◎MR船型のシンガポール積み輸出価格（重油 ドル/トン その他 ドル/バレル）

	スポット価格	プレミアム
ナフサ	+ 55.10～ 55.20 +	0.10/ 0.20
ジェット/灯油	+ 79.10～ 79.20 +	0.20/ 0.30
軽油 0.001%S	+ 79.70～ 79.80 +	0.15/ 0.25
軽油 0.05%S	+ 78.75～ 78.85 +	-0.80/-0.70
重油 180cst 3.5%S	+ 437.75～ 438.75 +	21.50/22.50

◎MR船型のインドネシア積みLSWR価格

	スポット価格	プレミアム
0.45%LSWR(\$/mt)	+ 469.25～ 471.25 +	53.00/55.00*
0.45%LSWR(\$/bbl)	+ 71.10～ 71.40 +	

*シンガポールペーパーズワップ180cst 3.5%S重油に対するプレミアム

◎シンガポール・ペーパーズワップ（重油 ドル/トン・その他 ドル/バレル）

	8月		9月		10月	
ナフサ	+ 54.95～ 55.05 +		+ 54.70～ 54.80 +		+ 54.55～ 54.65 +	
ジェット/灯油	+ 78.85～ 78.95 +		+ 78.50～ 78.60 +		+ 78.20～ 78.30 +	
ジェット/軽油格差	- -0.70/ -0.60 -		- -0.65/ -0.55 -		- -0.60/ -0.50 -	
0.001%S軽油	+ 79.50～ 79.60 +		+ 79.10～ 79.20 +		+ 78.75～ 78.85 +	

180cst 3.5%S重油	+ 416.00~ 416.50 +	+ 383.00~ 383.50 +	+ 359.50~ 360.00 +
380cst 3.5%S重油	+ 406.25~ 406.75 +	+ 371.50~ 372.00 +	+ 345.00~ 345.50 +

◎シンガポール精製マージン (対ドバイ原油・ドル/バレル)

	8月	9月	10月
ナフサ	-7.65	-7.25	-6.60
ジェット/灯油	16.25	16.55	17.05
0.001%S軽油	16.90	17.15	17.60
180cst 3.5%S重油	1.39	-3.04	-5.85
380cst 3.5%S重油	-0.11	-4.81	-8.08

◎アジア・バンカー価格 (ドル/mt・届けベース)

	180cst		380cst		LSMGO (日本のみMDO)	
東京湾	477.00-480.00	+15.00	470.00-473.00	+15.00	565.00-575.00	+5.00
西日本	483.00-486.00	+15.00	476.00-479.00	+15.00	574.00-584.00	+5.00
伊勢湾	482.00-485.00	+15.00	475.00-478.00	+15.00	565.00-575.00	+5.00
韓国	499.00-501.00	+6.00	479.00-482.00	+4.00	630.00-640.00	+10.00
シンガポール	483.00-485.00	+2.00	452.00-455.00	+2.00	600.00-610.00	+5.00

◎韓国出シSR船型輸入採算価格(A重油を除き関税・石油石炭税込み 円/kl)

荷揚げ地	ガソリン		灯油		軽油		A重油	
北海道	55,229	+963	61,104	+749	60,575	+779	55,850	+775
京浜	55,022	+963	60,896	+747	60,367	+778	55,642	+773
中京	54,814	+962	60,689	+747	60,160	+777	55,435	+773
関門	54,538	+961	60,413	+746	59,883	+776	55,158	+771

◎マーケットコメント

○元売り市中調達 トッパー停止数・1基 停止率=8.0%

30日の元売り市中買いはない。

○輸入船動向

リム情報開発の調べでは、30日に韓国からの入港は1隻、26日に麗水出港したSUNSHINE EXPRESS (5万kl)が30日に仙台塩釜港に到着。また、27日に台湾を出港したARA HANA (3,000kl)は、30日に三池に入港した。

○ガソリン 京浜・前日比500円高の60,500~61,500円 西日本・前日比1,400円高の59,500~60,500円

<概況>スポット価格は京浜が上昇。ルートを限定した買い気に押し上げられた。西日本も大幅反発。四国の中堅元売り玉の成約が多数できたことや買値が引き上げられたことを背景に商談水準が大きく引き上げられた。ペーパーズワップを基準とする月間平均フラットは61,000円へと上昇。市況連動商談は京浜が月間平均レス500~プラス500円となったが、西日本は月間平均レス1,500~レス500円とディスカウント圏で推移している。

<成約>

場所	対象	数量(kl)	成約値(円)	条件	固定値換算(円)
京浜	JOX	200	61,500	KYG	
大西	JOX	300	市況フラット	菊間	61,000
大西	JOX	200	61,500	菊間	
大西	JOX	200	市況フラット	菊間	61,000
阪神	OTC	200	56,200	二次基地	

<元売り市中買い> 民族系大手元売りによる京浜玉への買い気はあるが、その他の元売りは様子見の姿勢を取っている。

<JOF 市場> 午後 2 時 30 分時点の各唱えは以下のとおり(最高値ビッド/最安値オファー、上段:固定値、下段:市況連動)。

京浜	阪神	大西
61,500(500kl)/ -	61,500(500kl)/ -	- / -
- / -	- / -	- / -

<東西渡し>

東西のスポット市場では連日成約が浮上している。京浜ではこの日、前日よりも500円高い61,500円の成約ができた。ルートはこの日も中堅元売り玉。JOF市場では成約と同じ61,500円で、中堅元売り玉にビッドが示されたが、追加の成約には至らなかった。OTC市場では59,800円のオファーが寄せられているが、中堅元売り玉ではないため成約に至っていない。

西日本では4件の成約が浮上した。JOF市場では3件の成約ができたが、いずれもルートは四国の中堅元売り玉だった。価格は200klが61,500円、200klと300klが月間平均フラット。この日のフラットは61,000円に相当する。また、阪神では中堅元売り玉を対象に61,500円のビッドが出たが、売り手は現れないままセッションを終えた。一方、OTC市場ではJOF市場での成約や買唱えを大きく下回る成約ができた。阪神の二次基地出しで200klが56,200

円で成約。ルートによって、引き続き大きな価格差が生じている状況だ。これらの成約の平均値は60,000円となる。大西の製油所出しとして59,800円のオファーも提示されており、JOF市場での成約の割高さが際立っている。

東西ともにスポット市況は大きく切り上がった。東西のJOF市場では61,500円の成約ができており、引き続き民族系最大手元売りの関与が噂されている。海上スポット市場では中堅元売り玉を潤沢に有する業者はやはり限定的。仮にビッドが割高であっても売り応じることができないという。一方、二次基地出しでは引き続き阪神出荷の玉が56,000円台で成約され、製油所出しと二次基地出しの価格差が浮き彫りとなっている。元売りが二次基地玉に買い気を示す可能性は今後も低いとあって、引き続き早い段階で手持ち玉を消化しようとする業者がいるようだ。

灯油 京浜・前日と同じ 56,500~57,000円 西日本と同じ 56,000~57,000円

<概況> 東西でもち合い。先物価格は上昇したが、陸上価格は横ばいとなっており、提示された売

買水準は前日から変わりはない。市況連動は京浜で月間平均プラス500～プラス1,000円、西日本で月間平均フラット～プラス1,000円。この日のスワップは56,000円で横ばい。

<成約>

場所	対象	数量(kl)	成約値(円)	条件	固定値換算(円)
京浜	OTC	200	55,500	二次基地	
大西	OTC	200	55,500		

<JOF市場>午後2時30分時点の各唱えは以下のとおり(最高値ビッド/最安値オファー
上段:固定値、下段:市況連動)。

京浜	阪神	大西
— / —	— / —	— / —
— / —	— / —	— / —

<東西渡し>

京浜では、55,500円の成約。OTC市場では、最高値のビッドは57,000円、最安値のオファーは56,500円でビッドとオファーが逆転した。

西日本では、55,500円の成約。OTC市場では、最高値のビッドは58,000円、最安値のオファーは55,000円でビッドとオファーが逆転した。

東西のJOF市場で、ナンバーはなかった。京浜のOTC市場のディーラー間では、陸揚げ見合いで57,000円のビッドが商社や広域ディーラーから聞かれた。これに対するオファーは56,500円と、陸上価格が横ばいになっていることから、売買ナンバーも変わらなかった。成約は、二次基地出し

200klで55,500円と昨日と同値。陸上、先物価格と3,000円以上乖離、8月納会価格(58,070円)からみても月初から割安な状況は変わらない。

西日本のOTC市場では、ディーラー間で、56,000円のほか前日と同じ58,000円のビッドが提示された。後者は、阪神の陸上価格(60,250円)が京浜(59,000円)より上ザヤにあることを考慮したもの。これに対し、成約は大西200klで55,500円。京浜と同値だが、陸上価格を4,000円下回るうえ、先物価格とも3,000円乖離しており、「月初から大幅なディスカウントになっており、極端に割安に映る」(商社筋)。

○軽油 京浜・前日比500円高の63,300～64,300円 西日本・前日比500円高の63,300～64,300円

<概況>スポット市況は東西ともに切り上がった。買唱えの水準が切り上がり、相場は押し上げられた。ペーパーズワップを基準とする月間平均フラットは63,500円で推移している。市況連動商談は京浜、西日本がいずれも月間平均レス200～プラス800円と変わらなかった。

<成約>表面化せず。

<元売り市中買い>元売りによる手当てはなかった。

<JOF市場>午後2時30分時点の各唱えは以下のとおり(最高値ビッド/最安値オファー、

上段:固定値、下段:市況連動)。

京浜	阪神	大西
64,300(500kl)/ -	64,300(500kl)/ -	- / -
- / -	- / -	- / -

<東西渡し>

成約はJOF、OTC市場いずれにおいても浮上しなかった。JOF市場では前日に引き続き中堅元売り玉を対象とするビッドが提示されている。この日の唱えは64,300円で、前日から500円切り上がった。しかし、売り手は現れず。OTC市場では63,300円で売りを検討するプレイヤーがいるが、JOF市場のビッドと異なり、製油所出しのようだ。

JOF市場で提示されている買唱えが上昇した。この日のビッドは64,300円となっており、陸上スポット市況や元売り向け系列市況と対比しても極めて割高だ。しかし、ルートが引き続き中堅元売り

玉に限定されているために、売り応じられる業者は限られる状況。実際、OTC市場ではビッドより1,000円も安い63,300円の売りアイデアが寄せられるものの、成約には至っていない状況だ。他のプレイヤーからもビッドについては割高との声が寄せられる。この日のTOCOM先物市場の原油価格は42,700円で推移しており、ビッド64,300円のクラック・スプレッドは21,600円。非常に割高な水準を維持している。同ビッドについては引き続き民族系最大手元売りの関与が噂されるが、詳細は不明だ。

OA重油京浜・前日と同じ58,000~59,000円 西日本・前日と同じ58,000~59,000円

<概況>東西ともに横ばい。様子見ムードが強かった。市況連動商談は東西ともに月間平均レス500円~プラス500円と前日並みをキープ。

<元売り市中買い>なし。

<JOF市場>午後2時30分時点の各唱えは以下のとおり(最高値ビッド/最安値オファー、上段:固定値、下段:市況連動)。

京浜	阪神	大西
- / -	- / -	- / -
- / -	- / -	- / -

<東西渡し>

東西ともにOTC市場で58,000円のビッドが提示された。8月のオーダーが堅調とする広域ディーラーがショートカバー目的の買唱えを寄せた格好だ。ただし、足元での買い気は強くない。営業日が8月に入る前に焦って買いに動く必要性を感じてい

ないようだ。元売り各社の仕切り価格改定結果をまずは見極めたいとの思惑も働いたようだ。一方、オファーの提示はなし。8月のポジションが確定していないことから、様子見に徹するプレイヤーも多かった。

OLSA重油京浜・前日と同じ58,500～59,500円 西日本・前日と同じ58,500～59,500円

<概況>東西ともにもち合い。模様眺めムードが支配的だった。市況連動商談は東西ともに月間平均レス500円～プラス500円と前日水準を維持した。

<元売り市中買い>なし。

<JOF市場>午後2時30分時点の各唱えは以下のとおり(最高値ビッド/最安値オファー、上段:固定値、下段:市況連動)。

京浜		阪神		大西
- / -		- / -		- / -
- / -		- / -		- / -

<東西渡し>

東西ともにOTC市場で58,500円の買唱えが提示された。広域ディーラーが提示した。ただし、相場を押し上げるほどの勢いはなかった。元売りの仕切り改定や、8月の陸上市況をまずは見定めたい

との見方から、強気の買いには動きづらいようだ。8月のポジションがまだ固まっていないプレイヤーも多いなど、市場の動意は薄かった。

OLSC重油京浜・前日と同じ51,500～52,500円 西日本・前日と同じ51,500～52,500円

【税込み輸入採算価格】 日本着MR船型の硫黄分0.3%重油は前日比807円高の64,790円。

OHSC重油京浜・前日と同じ47,500～48,500円 西日本・前日と同じ47,500～48,500円

<概況>東西ともに横ばい。市況連動商談は東西とも月間平均レス500円～プラス500円。

<東西渡し>

原油相場は前日から680円の反発。7～9月のメニュー価格予想を51,500円と若干上方修正する声伝えられた。

バンカー玉(3.0%)の売れ行きが好調ではないようだ。ただし、足元では48,000円を中値とする水準で取引されており、東西ともに横ばいで違和感無しとの見方が大勢だ。

既報のとおり、阪神から西日本では、京浜ほど

【ボンドバンカー市況の内貨ネットバック価格】 京浜の180cstベースで前日比1776円高の51,751円。

【硫黄分3.5%品のカーゴ輸出価格】 前日比674円高の45,426円。

○スワップ取引・東商取概況
スワップアセスメントの基準ナンバーは午後3時～4時

<スワップ取引8月限>ガソリン、軽油は上伸。現物市場の強地合いが背景にある。ガソリンは60,500～61,500円で前日比500円高に上昇。灯油は55,500～56,500円で、前日から横ばい。先物価格に対し、2限月はビッドでレス300円、オファーはプラス300円で推移している。軽油は63,000～64,000円と前日か

ら500円高となった。

A重油は58,000～59,000円、LSA重油は58,500～59,500円。LSC重油が51,500～52,500円、HSC重油は47,500～48,500円。いずれも京浜の現物価格と同値。

<東商取先物>原油市況は上昇している。ガソリン、灯油も原油相場同様、切り上がった。当限のクラック・スプレッドはガソリンが前日比90円拡大の13,880円、灯油が同比330円拡大の17,040円といずれも拡大していた。

◎国内石油製品海上JOF・OTC成約

JOF成約は午後2時～2時30分に限定

油種	場所	対象	数量(kl)	成約値(円)	条件
ガソリン	京浜	JOX	200	61,500	KYG
ガソリン	大西	JOX	300	市況フラット	菊間
ガソリン	大西	JOX	200	61,500	菊間
ガソリン	大西	JOX	200	市況フラット	菊間
ガソリン	阪神	OTC	200	56,200	二次基地
灯油	京浜	OTC	200	55,500	二次基地
灯油	大西	OTC	200	55,500	

◎マーケットニュース

○日本取引所G=東商取株式の公開買い付け開始

日本取引所グループは30日開催の取締役会で、東京商品取引所の普通株式および無議決権株式の取得を決めた。金融商品取引法による公開買付けを実施する。買付け期間は8月1日～9月24日の36日営業日を予定しており、買付け価格は普通株式1株が487円、無議決権株式1株が48,700円。買付け予定株数は312万4,573株。

○貿易統計速報=7月上旬の原油輸入CIF価格、47,000円台に下落

財務省が30日に発表した貿易統計速報(旬間ベース)によると、7月上旬の原油・粗油輸入平均CIF価格(JCC)はキロリットル(kl)あたり47,273円と6月下旬比で2,291円切り下がった。6月の月間平均比でも2,864円安い。7月上旬の通関量は433万6,000klとなり、6月下旬比で38万6,000kl増加した。7月上旬の為替レートは1ドル=107.83円だった。

6月のJCC速報値は50,132円とわずかに下方修正された一方、5月の同確報値は50,995円へと上方修正された。

○リムエネルギー総合指数22種(レックス22、2010年平均=100)

30日のレックス22は、前日から0.24ポイント下落し93.91です

◇「トレーディングボード」で配信した情報は、価格評価の対象となります。本紙は「トレーディングボード」で配信する成約/ビッド/オファーの提示を受け付けております。

連絡先は国内石油製品チーム:03-3552-2411 メール:info@rim-intelligence.co.jp

ジャパン石油製品レポートのアセスメントメソドロジー



リンク先: <https://www.rim-intelligence.co.jp/uploaded/assessment/JpnJpnProductsMethodology10022017.pdf>

◇ガソリン、灯油、軽油、A重油の名古屋着輸入試算値は関税・石油石炭税込み

--EDITORIAL AND SUBSCRIPTION INQUIRY: Tokyo--Tel: (81) 3-3552-2411 Fax:(81)3-3552-2415 e-mail:
info@rim-intelligence.co.jp Singapore--Tel (65)6345-9894 Beijing--Tel (86)10-8527-1630 Fax (86)10-6428-1725
Shanghai—Tel (86)21-5111-3575 Fax (86)21-5111-3576 India--Tel: (91) 98795-50717

◇

※リムレポートの転送は著作権により堅く禁じられております。購読契約者である組織以外だけでなく、同契約者の組織内の他部署、支社、支店などへの転送も出来ません。本レポートの全部もしくは一部の転載も禁じられています。著作権違反が発覚した場合、違約金が発生することがあります。本レポートに記載された情報の正確性については万全を期しておりますが、購読者が本レポートの情報を用いて行う一切の行為に関して、リム情報開発株式会社は責任を負いません。また、天災、事変その他非常事態が発生し、または発生するおそれがあり、運営が困難となった場合、レポート発行を一時的に中断することがあります。

事業所一覧

[東京本社] Tel:03-3552-2411, Fax:03-3552-2415
e-mail:info@rim-intelligence.co.jp

[シンガポール支局] Tel:(65)-6345-9894, Fax (65)-6345-9894,
e-mail:hagimoto@rim-intelligence.co.jp

[北京支社] Tel:(86)10-6498-0455, Fax:(86)10-6428-1725
e-mail: guanhong@rimbj.com

[インド支局] Tel:(91)-98795-50717, e-mail:kamlesh@rim-intelligence.co.jp

[上海支社] Tel:(86)-21-5111-3575, e-mail:rim_sh@rim-intelligence.co.jp

(C) 2019 RIM INTELLIGENCE CO.